



Tokyo Tech

東京工業大学 産学協働プログラム
「人生100年時代の都市・インフラ学」

人生100年時代の豊かな ライフシーン Vol.1

チーム③：住まいと暮らし方

座長：永野敏幸（株式会社佐藤総合計画）

担当教員：浅輪貴史

2021年2月22日
資料作成：坂村圭

これから3回のワークショップが目指すこと

人生100年時代の豊かな住まいと暮らし方を創出する 都市・インフラのデザイン要件の抽出

- －住まいと暮らし方の「豊かさ」とはどのようなものを説明できるようになる
- －人生100年時代の「豊かな」住まいと暮らし方を想定できるようになる
- －人生100年時代に住まいと暮らし方の「豊かさ」を創出するために、都市・インフラがどのような要件を満たすべきかを理解する

「豊かさ」をデザインする

例えば、「これから50年を見据えた豊かな住まいと暮らし方を生み出すスペースをつくりたい」という依頼を受けたときに、その空間をどのように設計・計画しますか。

どのような人が集まるように設計しなければならないか、どのような活動を生み出したいか。そのためには、どんな機能が必要で、どれぐらいの面積が必要となるか・・・。

もちろんそれぞれのプロジェクトでは、クライアント、敷地要件、予算などが異なるため、このような問いには、画一的な答えはありません。それでも、それぞれのプロジェクトで満たすべき、豊かな住まいや暮らし方を創出するための「デザイン要件」や「検討事項」にはいくつかの共通点が存在しているのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、「豊かなライフシーン」を切り口に、都市・インフラが備えるべきデザイン要件を議論、抽出することを目的としています。



豊かさの事例を
集める



パターンや構造
を理解する



通底する概念や
ビジョンを応用
する

本日の中心的な議題

住まいや暮らし方が「豊か」とはどういうことか

- －住まいや暮らし方における「豊かさ」を自らの経験から掘り起こしてみる
- －グループ内で意見を共有して「豊かさ」を構成する多様さと共通する要素を議論する
- －住まいや暮らし方の豊かさに影響を与えるコトやモノを把握する

【次回以降の議題】

第2回：人生100年時代に住まいや暮らし方はどのように変化していくべきかを人の豊かさから考える

第3回：人生100年時代の住まいや暮らし方を支える都市・インフラのデザイン要件を考える

本日のタイムスケジュールと進行について

○タイムスケジュールと進行

ワークショップの全体時間は3時間(14:00-17:00)です。進行や時間配分はグループ座長に一任させていただきます。

事務局からはチーム内で行っていただきたい議題（ワーク）を数点提示させていただきます。この議題を中心に自由に議論を行ってください。

○本日議論していただきたいこと

- (work1) 自己紹介
- (work2) 豊かさを自分の経験から掘り起こす
- (work3) 全体ディスカッション

○本日の記録とその共有について

議論いただいた内容はビデオ記録を残すだけでなく、書き起こしを事務局で行います。これらの結果は人生100年のホームページでアーカイブさせていただきます。

【Work 1】

自己紹介

新しいワークショップのはじまりです。まずは自己紹介を行いましょう。
お名前、ご所属、最近の趣味、好きな食べ物など・・・

一人2分程度で自己紹介をお願いいたします！

【Work 2】

豊かさを自分の経験から掘り起こす

個人的な経験から住まいや暮らし方の豊かさを考えてみましょう。

「豊かさ」を感じた自身の住まいや暮らし方の経験を思い返して、ノートに書きだします（20分程度）。

ノートの内容がまとまったら、zoomのチャットに書き込みを行ってください。
全員の書きこみが終わったら、一人2分程度で発表を行います。

自分の経験を掘り起こす

まずは、深呼吸をして、心を落ち着けます。

心の準備が出来たら、ゆっくりと自身の「豊か」な住まいや暮らし方の経験を思い返してみましよう。

ぼんやりと風景が浮かび上がってきたら、そのなかでも特に鮮明な記憶を一つ選んで、できる限りその場所に留まり、探検をしてみます。

どのような場所にあなたはいますか。

それはいつの出来事でしたか。

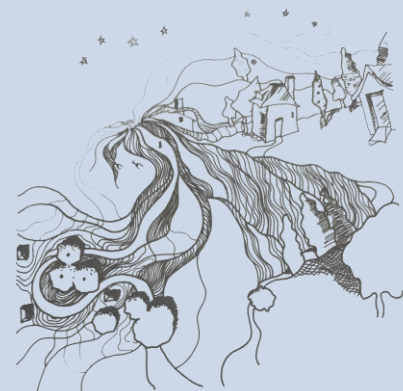
あなたは何をしていましたか。

誰と一緒にいたときのことだったでしょうか。

どのような会話をしましたか。

準備が出来たら、そのイメージを絵にしてみます。上手に書く必要はまったくありません。絵の中には必ず注釈をつけて、細部の特徴を言葉にします。

最後に、なぜその経験を「豊か」と思ったのかを改めて考えてみましょう。



【メモ欄】

Title :

いつのこと： 年 月 (朝・昼・夜)

何をしていた時：

どこで： (室内・屋外)

誰と一緒にいる：

何がみえる：

どんな音が聞こえる：

なぜ豊かだと思ったか：

【Work 3】

全体ディスカッション

グループ内の発表をもとに、ライフシーンの「豊かさ」の多様性と共通点を考えてみましょう。また、どのような事柄（時間、場所、相手・・・）が「豊かさ」に影響を与えるかを話し合ってみましょう。
その他にも、気になったことは何でもグループ内で共有してください。

議論してみたら面白いかもしれないこと

○住まいや暮らし方を分類するとしたらどのような分け方があるか

東京で初めて一人暮らしを始めたときに求める豊かさと、家族と一緒に暮らす住まいに求める豊かさは少し異なるのではないだろうか。では、その原因は一緒に住む人にあるのだろうか。それとも、自分の年齢や、その時の仕事などに関係しているのだろうか。

豊かさを切り口にする場合、住まいや働き方をどのように分類すると良いだろうか。

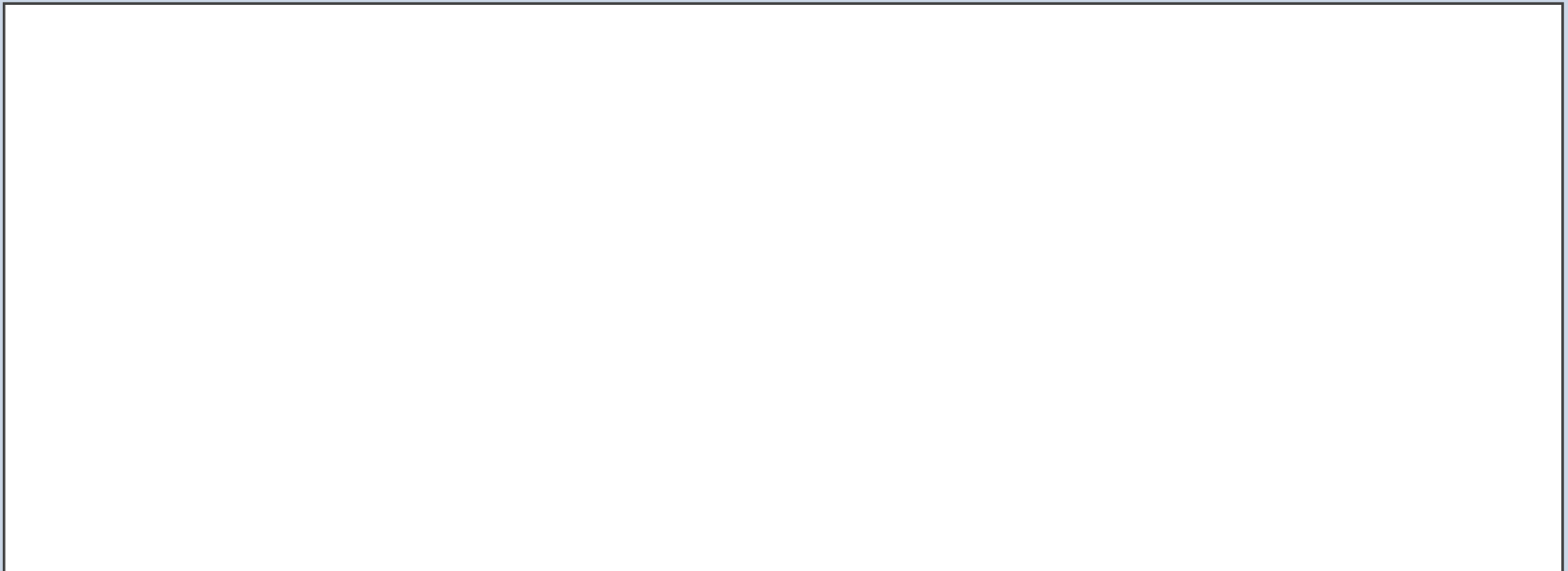
○日常のなかにある豊かさとは何なのだろうか

暮らしの中に感じる豊かさは、誰かと衝撃な出会いをした時の豊かさとは大きく異なる。それは日常の連続性や一貫性が背景にあるからこそ感じる小さな驚きであったり、繰り返しのうちにこそ見出せる喜びなのかもしれない。

日常の暮らしに私たちは何を求めて、それは豊かさとどのようなつながりがあるのだろうか。

本日のまとめ

住まい・暮らし方の「豊かさ」とは



である。